

都内私立中学高等学校  
校長  
数学科担当教諭 殿  
関係教職員

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会

会長 近藤 彰郎  
東京私学教育研究所長 平方 邦行  
理数系教科研究会委員長 武藤 道郎  
(共催: 公益財団法人東京都私学財団)

# 2026小田原 春の数学祭

理数系  
教科研究会  
数学

教員も生徒もわくわくするような授業設計

日時

令和8年3月24日(火) → 25日(水) 1泊2日

会場

ミナカ小田原コンベンションホール

生徒の心を動かす授業には、教員の「わくわく」が欠かせません。「生徒がわくわくする授業とはどのようなものか」、そして「その授業を届ける教員自身がわくわくしているか」、そんな問い合わせを抱えている先生も多いことでしょう。

そこで本研修会では、「教員も生徒もわくわくするような授業設計」をテーマに、今年で3回目となる宿泊型研修会を企画しました。

講師には、しもまっちハイスクールの下町壽男先生をお迎えし、

## 「数学科教師として“働くことの幸せ”を考える」

と題して、教えることのやりがいや、数学の奥深さを伝える魅力、そして生徒の学ぶ意欲を引き出すために教員がどのように前向きに授業と向き合っていくかについて、ご講演いただきます。

また、講演での学びを受けて、いくつかの単元について「生徒の心をつかむ授業案」の設計に取り組みます。参加者同士でアイディアを出し合いながら、多様な視点を活かして授業づくりを深めていきます。各グループの検討内容には、下町先生からフィードバックや講評をいただき、授業案としての完成度を高めていきます。こうして仕上がった授業案は、すぐに現場で活用できる“持ち帰り資料”として、今後の実践にも役立てていただけるはずです。

新年度に向けて、「数学の授業っておもしろい」と感じられる時間をご一緒にできれば幸いです。春のはじまりに、心があたたまる学びの2日間をご一緒しませんか。

## 日程

受付 9時15分から（開会式9時45分）  
※現地集合・現地解散

| 時間<br>日程     | 9  | 15 | 45  | 10             | 11         | 12 | 13 | 14 | 15  | 16 | 17    | 18 | 19         | 20        |  |
|--------------|----|----|-----|----------------|------------|----|----|----|---|----|-------|----|------------|-----------|--|
| 3月<br>24日(火) |    | 受付 | 開会式 |                | 講演         |    | 昼食 |    | 授業案づくりワークショップ①  |    | 発表・共有 |    | フィードバック・講評 | 休憩・チエックイン |  |
| 3月<br>25日(水) | 朝食 |    |     | 授業案づくりワークショップ② | 総括発表・アドバイス | 閉会 |    |    | ・プログラム間に適宜休憩あり。<br>・時間は目安です。（参加者数等により変更になる可能性がございます。） |    |       |    | 夕食         | 懇親会(自由参加) |  |

## 講演

# 数学科教師として“働くことの幸せ”を考える

## 講師

しもまっちハイスクール 校長 下町 壽男 先生

(共育・数楽コンシェルジュ)



40数年の数学教師人生を歩む。管理職時代から、授業改革を軸とした学校改革を訴え全国的な活動を行う。退職後は「しもまっちハイスクール」を立ち上げ、講演、講座等様々な形で教育支援に携わる。特に、昨年よりウズベキスタン初の日本型インターナショナルスクールの創設に関わり、カリキュラム開発や職員研修など、副校長兼エグゼクティブアドバイザーとして企画運営を手掛けている。現在は更に活動の視野を広げ、国内外問わず教育支援事業を精力的に展開している。著書は「つながる高校数学」(ベレ出版)等。アクティブラーニング関係の書籍の執筆は多数。趣味はギター演奏で、仲間と共にライブ活動を行っている。

しもまっち  
ハイスクールHP



## ワークショップについて



### ワークの流れ（予定）

- ① 会場に掲示された中学校・高等学校の単元一覧から その場で興味のある単元を選択
- ② 選択した単元ごとに少人数グループを編成し、アイディアを出し合いながら授業案を作成
- ③ 授業案を全体共有
- ④ 下町先生からのフィードバック・講評も予定

※①～④を2～3回繰り返す予定（時間に応じて変動）→毎回異なる単元に取り組めます



### お土産ポイント

作成した授業案はそのまま“現場で使える手札”に！

「この単元の入り方、ちょっと使ってみようかな」といったアイディアを複数持ち帰れる実践的ワークです！

## 定員

先着 20 名



## 参加費

26,000円 [宿泊費等 (1泊2日3食・シングル利用)・税込み]

(その他の費用は当協会会員各校の拠出金と(公財)東京都私学財団からの補助金で運営しております。)

※申込時にご入力いただいたアドレス宛に「参加費のお支払い」等、必要な事項を記載したメールをentry@tokyoshigaku.comよりお送りします(3月上旬)。

## 申込方法

3月9日(月)までに東京私学教育研究所ホームページよりお申込みください。

URL <https://k.tokyoshigaku.com/>



## 委員名

(支部・学校名)

委員長 武藤 道郎 (②芝)

委員 岡田 憲治 (②芝)・矢野 将弘 (⑥共栄学園)・鈴木 徹 (⑦大森学園)・  
皆尺寺 航 (⑧昭和女子大学附属昭和)・及川 寿幸 (⑫ドルトン東京学園)

## 宿泊研修会 参加者の声

日常業務ではなかなか落ち着いて授業を見つめ直す時間がとれませんが、教材研究にじっくり向き合える貴重な2日間でした。

(30代・男性/共学校)

自分では思いつかないような切り口や視点を、他の先生方との交流から得ることができ、授業の「引き出し」が増えました。

(20代・女性/共学校)

2年連続で参加しています。毎回、何かしら明日から使えるアイディアを持ち帰れるのがこの研修の魅力だと思います。

(40代・男性/女子校)

長く教壇に立っていると、知らず知らず自分の型に寄ってしまいがちですが、若手の先生の発想や他校のやり方にふれ、刺激を受けました。

(50代・男性/共学校)

内容は難しそうで、数学だけ考えられる贅沢な時間でした。

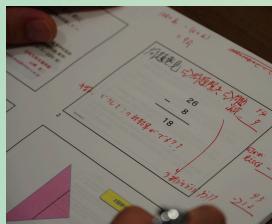
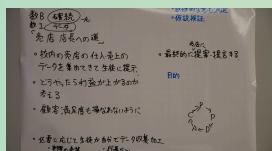
(30代・男性/共学校)

他校の先生と一緒に授業づくりをする経験は初めてでした。単元別にアイディアを出し合いながら授業を組み立てていく過程がとても新鮮で、協働の力を実感しました。楽しく、学びも深かったです。

(40代・女性/女子校)

2024 2025

Snapshots from the past



東京私学教育研究所 理数系教科研究会 (数学)

担当: 細川・岡沢

TEL 03-3263-0544

## 会場のご案内

### ミナカ小田原 コンベンションホール

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町1丁目1番15号

TEL 0465-22-1000 <https://www.minaka-odawara.jp/>  
[アクセス]

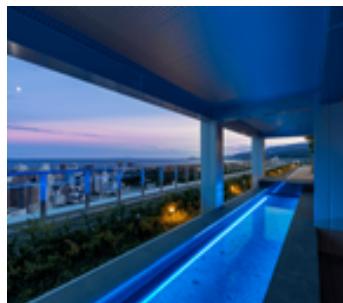
■新幹線をご利用の方（東海道新幹線利用「小田原駅」下車）

JR東京駅から「ひかり・こだま」で33分

■電車をご利用の方・新宿から小田急ロマンスカーで70分  
駅直結のアクセスしやすいロケーションです。



minaka  
ミナカ小田原



屋上足湯



客室



食事会場



サウナ



大浴場



研修会会場

宿泊ホテル・  
食事会場は  
ミナカ小田原にある  
『天成園 小田原駅 別館』

天候の悪化や各種災害、それに伴う公共交通機関の対応などにより、実施方法（オンライン研修を含む）・プログラムの変更や中止（延期）となる場合があります。その際にはweb申込時にご入力いただいたメールアドレスへ迅速にご案内させていただきます。